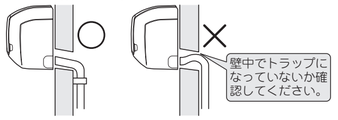
ルームエアコン据付説明書

9316154032-01

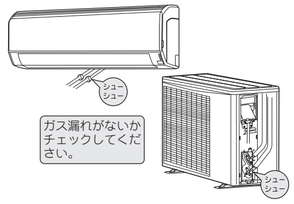
工事不良は次の4つが大半を占めています。

①ドレン排水工事不良



ドレン工事は、ドレン水が流れやすいように必ず下りこう配をつけて行ってください。ドレン水がスムーズに流れないと、水漏れや異常音の原因となります。横引きの場合でも、ドレンホース、配管は必ず下りこう配にしてドレンホースに水がたまらないようにし、必ず排水の確認を行ってください。

②配管接続箇所からのガス漏れ



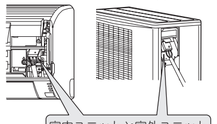
ガス漏れがないかチェックしてください。

③異電圧による故障

差し込む前に電圧チェックしてください。

227、257タイプ…単相100V　15A
287タイプ……単相100V　20A
407、507タイプ…単相200V　15A

④接続ケーブルの誤配線



室内ユニットと室外ユニットの端子盤の番号を合わせて完全に差込んでください。

試運転を必ず実施してください。

安全上のご注意

●据付工事前にお読みになり、正しく据え付けてください。
●ここに記載した注意事項は、いずれも安全に関する重要な事項ですので、必ず守ってください。
●据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。また取扱説明書に従ってお客様に使用方法、お手入れのしかたを説明してください。
●この据付説明書は、取扱説明書、保証書と共にお客様が保存頂くように依頼してください。

⚠警告	取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負うおそれがあるもの。
⚠注意	取扱いを誤った場合、傷害を負うおそれまたは物的損害を生じるおそれがあるもの。

図記号の意味は次の通りです。　⃠ この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。　❗ この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠警告

①据付工事は、お買い上げの販売店または専門業者に依頼してください。
・ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れやケガ、感電、火災などの原因になります。

②据付工事は、この据付説明書に従って確実に行ってください。
・据付工事に不備があると、水漏れやケガ、感電、火災などの原因になります。

③据付工事部品は、必ず付属品および指定の部品を使用してください。
・当社指定部品を使用しないと、室内外ユニットの落下、水漏れ、感電、火災などの原因になります。

④作業中に冷媒ガスが漏れた場合は換気してください。
・冷媒ガスが火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。

⑤配管、フレアナット、工具は、冷媒R410A専用のものを使用してください。
・既存（R22）の部材を使用すると、機器の故障と同時に冷凍サイクルの破裂などの重大な事故の原因になります。

⑥据付けは、室内外ユニットの重さに十分耐える所に確実に行ってください。
・据付工事に不備があると、室内外ユニットの落下によるケガなどの原因になります。

⑦冷凍サイクル内に指定冷媒（R410A）以外のものを混入させないでください。
・空気などが混入すると冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂、ケガなどの原因になります。

⑧電気工事は、電気工事士の資格を持っている人が「電気設備に関する技術基準」「内線規程」および、据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。
・電源回路容量不足や施工不備があると、火災、感電などの原因になります。

⑨室内外ユニット間の配線は、所定の接続ケーブル（VVFケーブル直径2.0mm）を使用し、確実に端子盤へ差込んでください。また、端子盤に接続ケーブルからの無理な力が加わらないように、接続ケーブルを「配線押さえ」で確実に固定してください。
・より線を使用したり、接続ケーブルの途中接続、差込み・固定が不完全ですと、故障、火災、感電などの原因になります。

⑩アース（接地）を確実に行う。アース工事は、販売店または専門業者に依頼する。アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。
・アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

⑪設置工事終了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認してください。
・冷媒ガスが室内に漏れ、ストーブなどの火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。

⑫電源コードの加工・延長コードの使用・タコ足配線はしないでください。
・接続不良、絶縁不良、許容電流オーバーなどにより、火災や感電の原因になります。

⑬室外ユニットをベランダの手すり近くに設置しないでください。
・お子様などが室外ユニットに乗り、手すりを乗り越え、落下事故につながります。

⚠注意

①湿気の多いところ、雨水など水気のあるところに設置するときは漏電しゃ断器の取付けが必要です。
・漏電しゃ断器が取り付けられていないと、感電の原因になることがあります。

②可燃性ガスが漏れるおそれのある所へは設置しないでください。
・万一ガスが漏れてエアコンの周囲にたまると、発火して火災などの原因となることがあります。

③ドレン工事は、据付説明書に従って確実に排水するように配管してください。
・排水が不完全な場合、屋内に浸水し、家財などをぬらす原因になることがあります。

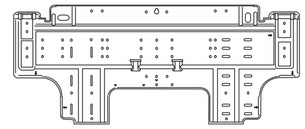
④室内外機の下に他の電気製品や家財などを置かないでください。
・水滴が滴下することがあり汚損や故障の原因となることがあります。

⑤室内外ユニットのアルミフィンにさわらないでください。
・ケガなどの原因になることがあります。

標準付属部品

※印は室外ユニット同梱。

●据付板　×1



●リモコン　×1

●乾電池（単4）　×2

●空清フィルター　×2

●クロステーブ　×1

●ネジ（大）　×5
（φ4×25）
据付板取付用

※ドレン排水管　×1

1.電源について

●電源が違うと、内部の電気部品が破損し運転できなくなります。または正常に動作しません。
※電源は、必ず製品の定格電圧と合わせてください。

⚠警告

●電気工事・アース工事は、電気工事士の資格を持っている人が、「電気設備に関する技術基準」「内線規程」に従って施工してください。
・電気工事に不備があると、感電、火災の原因になります。
●電源は必ず専用の分岐回路にし、専用のコンセントを設けてください。

能力クラス	電源	ヒューズおよびブレーカー定格	コンセント定格
227、257タイプ	単相100V	15A	125V 15A㊀
287タイプ	単相100V	20A	125V 20A㊁
407、507タイプ	単相200V	15A	250V 15A㊂

・電源回路の容量不足などがあると、火災の原因になります。
●電源プラグの差込みは確実に行ってください。
●コンセントがゆるい場合は、修理をしてから使用してください。
・差込みが不完全な場合や、コンセントがゆるい場合は火災の原因になります。
●電源コードの改造や延長はしないでください。
・火災や感電の原因になります。

⚠注意

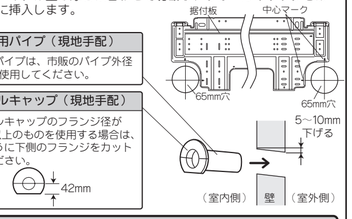
●湿気の多いところ、雨水など水気のあるところに設置するときは漏電しゃ断器の取付けが必要です。
・漏電しゃ断器が取り付けられていないと、感電の原因になることがあります。

2.穴あけ

①壁穴は、直径65mmの穴を外側に下りぎみにあけます。（下図参照）
②壁穴用パイプは壁の厚さに合わせて切断し、ウォールキャップをはめ、穴に挿入します。

壁穴用パイプ（現地手配）
●壁穴用パイプは、市販のパイプ外径60mmを使用してください。

ウォールキャップ（現地手配）
●ウォールキャップのフランジ径が85mm以上のものを使用する場合は、図のように下側のフランジをカットしてください。



⚠警告

●壁の構造（メタルラス張り、ワイヤラス張りまたは金属張りの壁）によっては、壁穴用パイプを使用しないと、漏電などの原因になるため、法律でその使用が定められています。

3.据付板の取付け

⚠警告

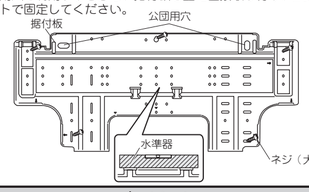
●据付板は、大人の体重程度の重さに耐えるように取り付けてください。
・取付けに不備があると、室内ユニットの落下の原因になることがあります。

⚠注意

●据付板は、水平・垂直に取り付けてください。
・傾きがあると水漏れの原因になることがあります。

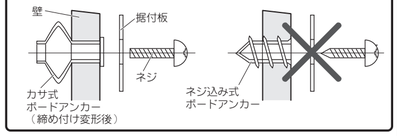
壁に直接取り付ける場合

①水準器などを用いて水平を確認してください。
②据付板は、外周に近い穴をネジ（大）5本以上用いて固定します。
・据え付けは、壁内の構造物を利用して重量に十分耐えられるよう行ってください。
③据付板にひずりつきがないことを確認してください。
●公団用穴を利用するときは、据付板を壁に直接取り付け、2つの袋ナットで固定してください。



⚠注意

●壁が石膏ボードの場合、使用するボードアンカーは、必ずカサ式のものをご使用ください。
・ネジ込み式のボードアンカーは、締めすぎると、保持強度が極端に落ちる場合がありますので、使用しないでください。



回り縁と鴨居に取り付ける場合

別売の据付金具をご使用ください。形名：AT-F01

●別売の据付金具に付属の説明書に従って取り付けてください。

据付場所の選定

●お客様の同意を得て据え付けてください。
●油煙のある場所や、工場などで油を使用している場所、潮風が直接あたる場所、温泉地帯など硫化ガスの発生する場所、塵埃の多い場所、動物の尿がかかったり、アンモニアの発生する場所への設置は避けてください。
●下記の条件が満たせる場所を選定してください。

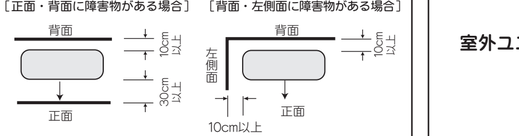
室内ユニット

●据付板の周囲に右図の間隔が取れる所。
●室内ユニットの重さに耐え、共振音の出ない丈夫な壁面。
●吸込口、吹出口付近に障害物がなく、冷気・暖気が部屋全体に行きわたる所。
●近くに熱源や蒸気の発生、可燃ガスの漏れるおそれのない所。
●直射日光の当たらない所。
●ドレン排水がしやすい所。
●エアフィルタが着脱できる所。
●電源（専用回路）に近い所。（電源プラグが届く所）
・電源は必ず専用回路に接続してください。他の電源回路を使うとテレビ、ラジオなどにノイズが発生する恐れがあります。
●室内ユニットと電源コードが、テレビ、ラジオおよびそのアンテナ線より1m以上離れている所。
●電子式瞬時点灯方式の蛍光灯、薄型テレビの画面の影響を受けない所。
・電子式瞬時点灯方式（インバーター方式など）の蛍光灯の近くに設置すると、リモコンの信号を受け付けないことがありますのでご注意ください。昼間でも点灯してリモコンの信号を受け付けることを確認してください。

室外ユニット

●室外ユニット周囲に右図の間隔が取れる所。
・室外ユニットの周囲に開放された場所が選べず、やむを得ず2方向に壁などの障害がある場所に据え付ける場合、冷暖房能力および入力は10%程度悪化する場合があります。

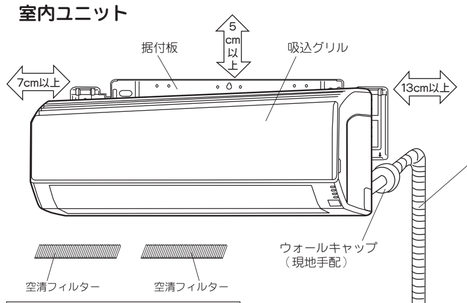
［正面・背面に障害物がある場合］　［背面・左側面に障害物がある場合］



●雨や直射日光が当たりにくく、風通しのよい所。
●近くに熱源の発生、可燃ガスの漏れるおそれのない所。
●蒸気、油煙、ちり、ほこりの排出される排気口、換気口などより離れている所。
●テレビ、ラジオ、無線機などのアンテナより3m以上離れている所。
●強い風が直接吹きつけない所。
●暖房時のドレン水が排水されても支障のない所。
●小動物や虫などのすみかにならない所。
●室外ユニット吹出口からの風や騒音が隣家の迷惑にならない所。
・特に隣家との境界線では、公害対策基本法第９条の規定に基づく騒音に係る環境基準および都道府県の条令などを満足するように据え付けてください。

室内外ユニット据付図

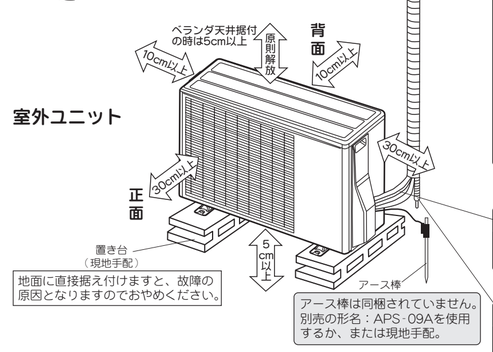
室内ユニット



空清フィルターの取付け方は「取扱説明書」をご覧ください。

配管長さ	最大　15m
配管高低差	最大　10m

室外ユニット



地面に直接据え付けますと、故障の原因となりますのでおやめください。

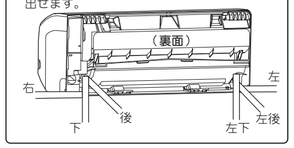
アース棒は同梱されていません。別売の形名：APS-09Aを使用するか、または現地手配。

※効率の良い運転のために、室外ユニット据付けは正面・左側面の2方向をなるべく開放してください。

電源コードの長さ

室内ユニットの配管取出し方向

●配管は、後、左、右、下、左後、左下から取り出せます。

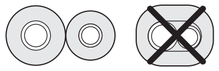


接続配管

●接続配管は、下表に示す寸法で「JIS H3300」に定める「リン脱酸銅継目無管（C1220T）」を使用してください。

	外径	肉厚
細管	直径6.35mm（1／4″）	0.8mm
太管	直径9.52mm（3／8″）	0.8mm

●接続配管は必ず太管・細管共断熱してください。また、太管・細管は別々に断熱してください。



接続ケーブル

●接続ケーブルは、VVFケーブル直径2.0mm、3芯のものを使用してください。

延長用ドレンホース

●延長用ドレンホースには、内径16mmのものを使用してください。

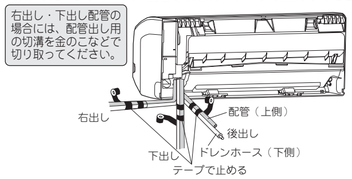
4.室内ユニットの取付け

後出し・右出し・下出し配管の場合

ドレンホース・配管の成形

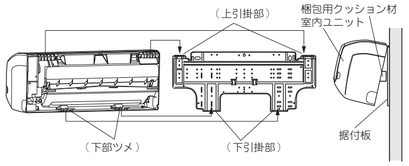
●右出し・後出し配管の場合には、ドレンホースが必ず配管の下側になるようにドレンホース・配管をまとめ、テープで止めてください。

右出し・下出し配管の場合には、配管出し用の切溝を金のこなどで切り取ってください。



室内ユニットの取付け

①室内ユニットを据付板の上引掛部に掛けます。
②室内ユニットと据付板との間に梱包用クッション材などをはさみ室内ユニットの下部を浮かせます。



配線・配管の接続は、この状態で行います。

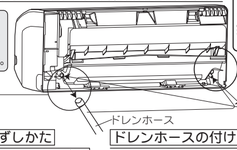
左出し・左後出し・左下出し配管の場合

ドレンホースの付けかえ

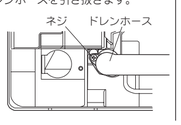
●ドレンホースとドレンキャップを必ず付けかえてください。

左出し・左下出し配管の場合には、配管出し用の切溝を金のこなどで切り取ってください。

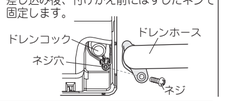
ドレンキャップ
ドレンキャップは、ペンチなどで先端の突起部を引っ張ってはずしてください。



ドレンホースのはずしかた
●ドレンホース左側にあるネジをはずし、ドレンホースを引き抜きます。

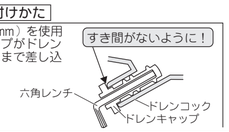


ドレンホースの付けかた
●ドレン金具がドレンコックの下のネジ穴に当たるまで、ドレンホースを奥までまっすぐ差し込んでください。
差し込み後、付けかえ前にはずしたネジで固定します。



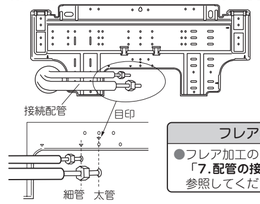
●ドレンホースの接続口に近いところを持って作業してください。
●ネジが奥にあるので、マグネット加工されているドライバーを使用してください。

ドレンキャップの付けかた
●六角レンチ（対辺4mm）を使用して、ドレンキャップがドレンコック先端に当たるまで差し込みます。



接続配管の成形

●あらかじめ据付板上の目印（太管・細管）にフレア先端部を合わせ、接続配管を成形してください。
●接続配管は曲げ半径70mm以上で曲げ、壁面からの浮きは35mm以下にしてください。
●接続配管の曲げ加工は、配管をつぶさないように注意してください。
●接続配管は何度も曲げ伸ばしを繰り返しますと、銅管が硬化して曲げ伸ばしができなくなりますので、曲げ伸ばしは、3回以内にしてください。
●接続配管の成形後、「**後出し・右出し・下出し配管の場合**」と同様に室内ユニットの取付けを行ってください。



フレア加工
●フレア加工のしかたは、「**7.配管の接続**」の項目を参照してください。

⚠注意

●ドレンホースとドレンキャップは、突き当たるまで確実にまっすぐ差し込んでください。斜めに差し込むと、水漏れの原因になる恐れがあります。
●差込み時口元には水以外のものは塗布しないでください。水以外のものを塗布すると、劣化し水漏れの原因になります。
●ドレンホースをはずしたあとには、ドレンキャップを付けるのを忘れないでください。
●ドレンホースは必ず配管の下側になるようにテープで止めてください。

5.室外ユニットの据付け

●騒音や振動が増大しないように、しっかりした台（ブロックなど）の上に据え付けてください。
●地面に直接据え付けますと、故障の原因となりますのでおやめください。
●振動が家屋に伝わるおそれのある場所では、防振ゴムなどの防振材（現地手配）を室外ユニットの下に介して据え付けてください。

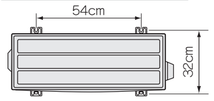
⚠警告

●強風の当たる可能性のある場所では、室外ユニットを固定してください。

⚠注意

●地区によっては、屋根上などの据付けが規制されている場合があります。
●5°以上傾かないようにしてください。

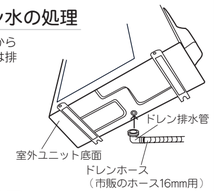
室外ユニット取付穴位置



室外ユニットのドレン水の処理

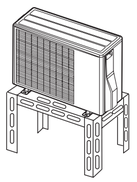
●暖房運転時は、室外ユニットから水が出ます。支障となる場合は排水工事を行ってください。

●氷点下の外気温が2～3日続く地域では、排水工事をしないで「タレ流し」の状態にしてください。



積雪が多い地域での設置

●室外ユニットの吸込口や吹出口が雪でふさがれると、暖まりにくくなったり故障の原因となることがあります。雪除けを設置したり、高置台（現地手配）に設置してください。



裏面につづく➡

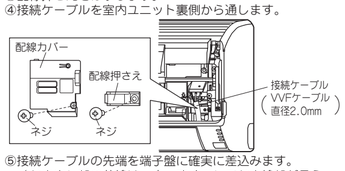
6.配線の接続

⚠警告

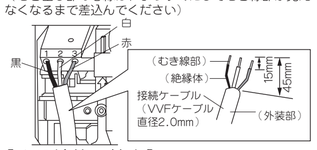
●接続ケーブルはVVFケーブル直径2.0mmを使用してください。より線は絶対に使用しないでください。
・より線を使用すると火災の原因になります。
●端子盤への接続ケーブルの差込みは確実に行ってください。
・差込みが不完全ですと火災の原因になります。
●接続ケーブルは必ず配線押さえで固定してください。
●接続ケーブルを途中で接続しないでください。
・故障、火災、感電などの原因になります。

室内ユニットの配線

①吸込グリルを開きます。
②配線カバーをはずします。
③配線押さえをはずします。
④接続ケーブルを室内ユニット裏側から通します。



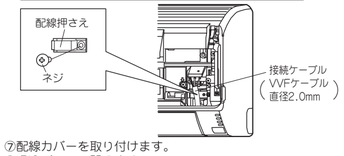
⑤接続ケーブルの先端を端子盤に確実に差込みます。
（むき出し部の芯線は、まっすぐにしてむき線部が見えなくなるまで差込んでください）



【より線使用禁止】

⑥接続ケーブルを配線押さえで固定します。

接続ケーブルの外装部を配線押さえで固定します。
※ネジで止めてください。



⑦配線カバーを取り付けます。
⑧吸込グリルを閉めます。

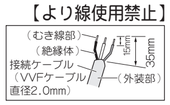
⚠注意

●端子盤の番号と接続ケーブルの色は、室内ユニットと室外ユニットを合わせてください。
・誤配線をすると電気部品を焼損することがあり、発煙、発火の原因になることがあります。
●配線押さえでの固定は、必ず接続ケーブルの外装部を押さえてください。
・絶縁体を押さえると漏電し、感電の原因になることがあります。
●端子盤カバーで接続ケーブルをはさみこまないでください。
・ケーブルが傷つきショートする恐れがあります。

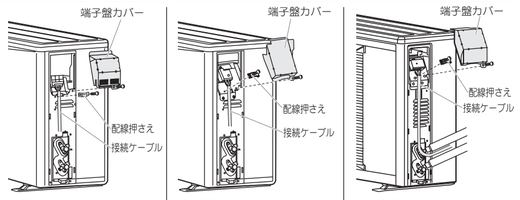
室外ユニットの配線

①電装カバーをはずします。（右図参照）
②端子盤カバーをはずします。
③室外ユニットの配線押さえをはずします。
④接続ケーブルの先端を端子盤の奥までしっかり差込みます。
（むき出し部の芯線は、まっすぐにしてむき線部が見えなくなるまで差し込んでください）
⑤接続ケーブルの外装部を配線押さえでしっかりと固定します。

【より線使用禁止】



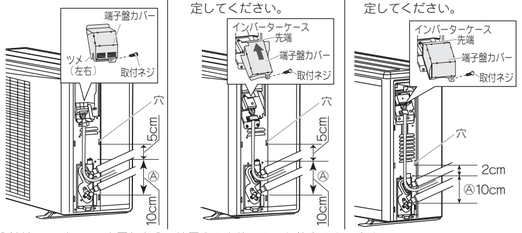
AO-227NE4、AO-257NE4	AO-227FE4、AO-257FE4 AO-287NE4、AO-407N2E4	AO-287FE4、AO-407F2E4 AO-507F2E4



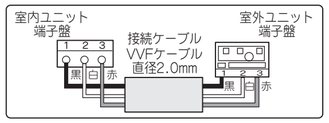
⑥端子盤カバーは、ツメ（2ヵ所）を外胴にはめて取付ネジで固定してください。

⑥端子盤カバーは、先端をインバーターケースの内側に差し込んで、取付ネジで固定してください。

⑥端子盤カバーは、先端をインバーターケースの内側に差し込んで、取付ネジで固定してください。



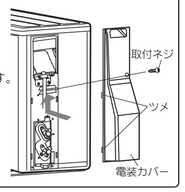
⑦接続ケーブルは、上図矢印Ⓐの範囲内で室外ユニット後方に出します。
（接続ケーブルを範囲外に通すと、電装カバーが取り付けにくくなります。）



電装カバーのはずしかた・取付けかた

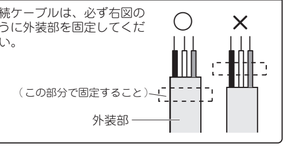
はずしかた
①取付ネジ（1本）をはずします。
②電装カバーを下側に押し下げてから、手前に引いてはずします。

取付けかた
①電装カバーのツメを挿入した後、上側に押し上へください。
②取付ネジ（1本）を締めてください。



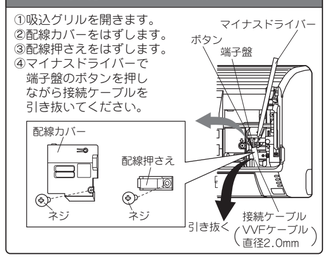
接続ケーブルの固定

●接続ケーブルは、必ず右図のように外装部を固定してください。



接続ケーブルの抜きかた

①吸込グリルを開きます。
②配線カバーをはずします。
③配線押さえをはずします。
④マイナスドライバーで端子盤のボタンを押しながら接続ケーブルを引き抜いてください。



9.アース工事

⚠注意

●必ずアース工事を行ってください。アース工事は、販売店または専門業者に依頼してください。
・アースは、万一の感電事故を防止する他に、内蔵されたインバータ（周波数変換装置）による誘導電気を吸収したり、テレビやラジオに入るノイズを防止する効果があります。

接地の基準

●接地の基準は、エアコンの電源電圧および設置場所により異なります。下表により接地工事を行ってください。

電源の条件＼エアコンの設置場所／エアコンの種類		水気のある場所に設置する場合	湿気のある場所に設置する場合	乾燥した場所に設置する場合
対地電圧が150V以下の場合	100Vの機種（含単相3線式200Vの機種）	漏電しゃ断器を取り付け、さらにD種接地工事が必要です。	D種接地工事が必要です。	D種接地工事は法的には除外されますが、安全のため接地工事を行ってください。
対地電圧が150Vをこえる場合	3相200Vの機種および単相2線式200Vの機種			

D種接地工事について
●接地工事は、電気工事士の資格を持っている人が行ってください。
●接地抵抗は、100Ω以下であることを確認してください。ただし漏電しゃ断器を取り付けた場合は、500Ω以下であることを確認してください。

乾燥した場所に設置する場合
●接地抵抗は、100Ω以下になるようにしてください。

接地工事のしかた

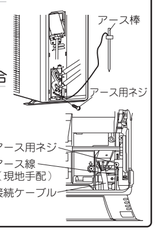
●アース工事は「電気設備に関する技術基準」に従って行ってください。アース用ネジは、室内・室外の両ユニットにあります。どちらか一方にアースを取り付けてください。

室外ユニットからアース工事を行う場合
●アース棒は同梱されていません。
（別売の形名：APS-09Aを使用するか、または現地手配）

室内ユニットからアース工事を行う場合

単相200V機種の場合
●室内電源コードがアース付きになっています。

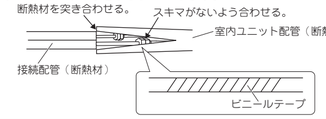
単相100V機種の場合
●配線押さえをはずし、アース用ネジへ直径1.6mm以上または断面積2.0mm^{2}以上のアース線を取り付けてください。
●アース線は室内ユニットから接続ケーブル用の穴を通して接続してください。



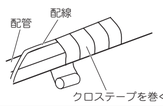
10.仕上げ

配管接続部の断熱

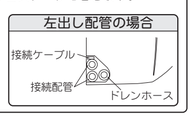
●接続配管の断熱材と室内ユニット配管の断熱材を市販のビニールテープでスキマなきようシールします。



●左出し・左後出し・左下出し配管の場合は、室内ユニット背面の配管収納部に収納する範囲内にクロステープを巻きます。



左出し配管の場合

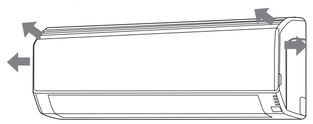


室内ユニットの固定

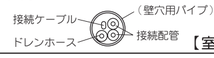
●室内ユニットの下部を壁側に押しつけて、据付板の引掛部に室内ユニットの下部ツメ（2ヵ所）を掛けます。
※室内ユニットを据付板よりはずす時は、本体底面の「▲」マーク部分を押しながら下部を手前に引いてください。
（前面パネルのはずしかたの図を参照）

次の事項を確認してください。

●確実に上下引掛部がはめ込まれているか、室内ユニットを前後左右に動かして確認してください。



●室内ユニットは水平・垂直に取り付けられていますか。
●左後出しの場合、ドレンホースは壁穴用パイプの下側になっていますか。



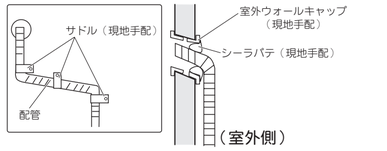
【室内側から見たとき】

電装カバーの取付け

●室外ユニットの電装カバーを取付けてください。
（取付けかたは、「**6.配線の接続**」の項目を参照してください）

接続配管の固定

●接続ケーブルを接続配管に沿わせてテープで仮止めし、本体より外側の見える部分に化粧テープを巻きます。右出し、下出し、左出し、左下出し配管の場合は、本体から出る部分の化粧テープをしっかりと巻いて、配管が膨らまないようにしてください。（屋外になる部分では、水が入り込まないよう配管の下側からテープの幅1／3位重ねて巻いてください。）
●接続配管は、サドルなどで外壁に固定します。
●外壁の配管穴と配管の隙間には、雨水が吹き込まないようシーラパテなどで完全にふさいでください。

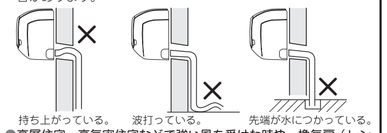


ドレンホースの固定

●ドレンホースは、外壁などに固定してください。
（ドレンホースは、必ず下りこう配をつけて固定してください）

⚠注意

●ドレンホースが下図のようになっていないことを確認してください。
・下図のようになっていると、屋内に浸水し、家財などを濡らす場合があります。

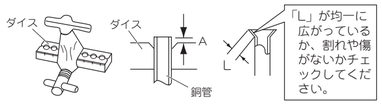


●高層住宅、高気密住宅などで強い風を受けた時や、換気扇（レンジフードなど）を使用したときに、ドレンホース内を空気が室内側に流れ、異音（ポコポコ音など）が発生することがあります。対応部品（有償）を用意しておりますので、サービスセンターへお問い合わせください。
●ドレンホースを下水道に入れないようにしてください。下水道内で発生した硫化水素などの腐食性のガスが熱交換器を腐食させ、ガス漏れが起こる場合があります。

7.配管の接続

フレア加工

①パイプカッターで接続配管を必要な長さに切断します。
②切粉が銅管に入らないよう下向きにしてバリを取ります。
③フレアナットを銅管に挿入し、フレア工具でフレア加工します。

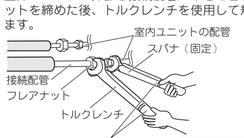


銅管外径	A（mm）			
	R410A用フレアツールクラッチ式	従来（R22用）のフレアツール		
		クラッチ式	ウイングナット式	
6.35mm（1／4″）	0～0.5	1.0～1.5	1.5～2.0	
9.52mm（3／8″）	0～0.5	1.0～1.5	1.5～2.0	

配管の接続

●配管は折れ防止のため、急激に曲げたりせず半径70mm以上で曲げてください。
●配管は同じ箇所の曲げ伸ばしを何度も行いますと、折れるおそれがありますのでご注意ください。
●本体のフレアナットは、配管接続の直前まではずさないでください。
●フレア面への冷凍機油の塗布は行わないでください。

①室外側ウォールキャップ（現地手配）を壁穴用パイプに取り付けます。
②室内ユニットの配管と接続配管の中心を合わせ、手で十分フレアナットを締めた後、トルクレンチを使用し、2丁スパナ方式で規定のトルクで締め付けます。
③室外ユニットの弁部と接続配管の中心を合わせ、手で十分フレアナットを締めた後、トルクレンチを使用して規定のトルクで締め付けます。



2丁スパナ方式で締めてください。

フレアナット	締付けトルク
6.35mm（1／4″）用	16±2N・m
9.52mm（3／8″）用	38±4N・m

⚠注意

●フレアナットは、トルクレンチで指定の方法で締め付けてください。
・フレアナットの締め付け過ぎがあると、長期経過後フレアナットが割れて冷媒漏れし、有毒ガス発生の原因となります。

8.エアパージ・ガス漏れ検査

※エアパージは必ず真空ポンプ方式でお願いします。

●ゲージマニホールドの高圧側バルブは全閉で、以下の作業中は操作しません。

配管接続が確実に行われているかを確認します。
↓
二方操作弁、三方操作弁の弁棒が全閉であることを確認します。
↓
三方操作弁のチャージ口キャップをはずし、チャージ口にゲージマニホールドのチャージホース（バルブコア押しの突起が出ている側）を接続します。
↓
ゲージマニホールドの低圧側バルブを全開にします。
↓
真空ポンプを運転して真空引きを開始します。
↓
三方操作弁のフレアナットを少しゆるめ、空気が入ってゆくことを確認し、フレアナットを再度締めます。
（フレアナットをゆるめると真空ポンプの運転音が変化し、連成計がマイナスから0になります）
↓
真空引きを15分以上行い連成計が−0.1MPa（−76cmHg）になっていることを確認します。
↓
真空引きが終わったらゲージマニホールドの低圧側バルブを全閉にし、真空ポンプの運転をやめます。（1～2分間そのままの状態にして連成計の針が戻らないことを確かめます。）
↓
三方操作弁の弁棒を少しゆるめ、連成計の圧力が0.1～0.2MPa（1～2kg／cm^2）になったところで弁棒を締め、三方操作弁のチャージ口からチャージホースをはずします。（チャージホースをはずす前に三方操作弁の弁棒を全開にすると、チャージホースがはずれない場合があります）
↓
二方操作弁、三方操作弁の弁棒をストッパーに軽く当たるまで開けます。（それ以上力を加えると、ガス漏れの恐れがあります）
↓
二方操作弁、三方操作弁のキャップとチャージ口キャップを確実に締めます。

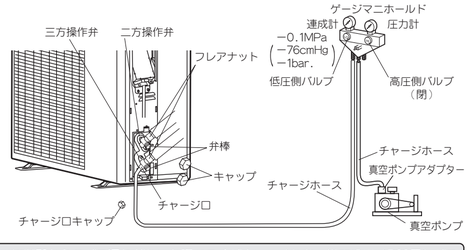
⚠注意

●ゲージマニホールド・チャージホース・真空ポンプは、必ず冷媒（R410A）専用工具を使用してください。
・専用工具を使用しないと、故障の原因となります。

※真空ポンプおよびゲージマニホールドは使用前に製品付属の説明書を読み、正しく使用してください。
※真空ポンプは油がオイルゲージの指定線まで入っていることを確認してください。

弁棒の開閉は4mmの六角棒スパナで行ってください。

	締付けトルク
キャップ	23±3N・m
チャージ口キャップ	14±2N・m



⚠警告

●据付作業では、圧縮機を運転する前に、確実に接続配管を取り付けてください。
・接続配管が取り付けておらず、かつ二方操作弁、三方操作弁が開放状態で圧縮機を運転すると、空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧となり、破裂、ケガなどの原因になります。

以上の作業が終わったのち、ガス漏れ検知器などにより配管接続箇所からのガス漏れがないか調べてください。（なお、従来冷媒（R22用）ガス漏れ検知器では、HFC系冷媒（R410A）の検出能力が低いため、HFC系冷媒対応のガス漏れ検知器を使用してください。）

11.試運転

試運転前に下記について確認してください。

電源について
・電圧は正しいですか。「**1.電源について**」を確認してください。
・コードの加工・中間接続を行っていませんか。
・専用のコンセントになっていますか。
・差込みは確実でゆるくはありませんか。

接続ケーブルについて
・差込みは確実ですか。
・正しく接続されていますか。
・確実に固定されていますか。

アース線の接続は確実にされていますか。

●冷房（暖房）試運転を行い下記1.2.について確認してください。
●運転方法については、取扱説明書に従ってください。
●室温によっては、室外ユニットが運転しないことがあります。その場合は、エアコン運転中にリモコンの試運転ボタンを押してください。（リモコンの送信部を本体に向けて、試運転ボタンをボールペンの先などで押してください）
●リモコン試運転ボタンを押して運転しますと、「運転ランプ」と「タイマーランプ」が同時に遅い点滅を行います。

試運転ボタンの押しかたについて

AS-227FE4、AS-257FE4、AS-287FE4、AS-407F2E4、AS-507F2E4形の場合

●裏面の電池ブタを開けて、試運転ボタンを押してください。
①電池ブタを開ける
▼を押しながら、矢印の方向に引く。
②試運転ボタンを押す

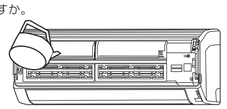
AS-227NE4、AS-257NE4、AS-287NE4、AS-407N2E4形の場合

●ボールペンなどをまっすぐに立てて押してください。

●試運転を終了するときは、リモコンの運転／停止ボタンを押してください。

1.室内ユニット

①リモコンの各ボタン操作で正常に動作しますか。
②各ランプは、正常に点灯しますか。
③風向板は、正常に動作しますか。
④冷・温風が出ますか。
⑤ドレン排水は正常ですか。
●エアフィルタをはずし、やかんなどで水を注いでドレン排水が正常であるか確かめてください。



2.室外ユニット

①運転時に異常音・振動音は、ありませんか。
②運転音や吹き出した風・ドレン排水が、ご近所の迷惑になっていませんか。
③ガス漏れは、ありませんか。

12.お客様への説明

●取扱説明書にしたがって、お客様にご使用方法、お手入れのしかたなどを説明してください。
●保証書、取扱説明書、据付説明書を室内ユニットに添付していますので、工事完了後お客様に保管していただくようお渡しください。

ポンプダウンの手順（強制冷房運転）

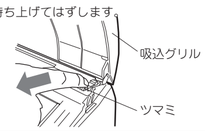
冷媒の大気への放出を防ぐため、移設または廃棄時には、下記の手順により、冷房運転または強制冷房運転を行い、室外機への冷媒回収を行ってください。（冬期時など冷房運転ができない場合は、強制冷房運転を行います）
①三方操作弁のチャージ口にゲージマニホールドのチャージホースを接続し、低圧バルブを少し開け、チャージホース内のエアパージを行います。
②二方操作弁の弁棒を全閉にします。
③冷房運転または強制冷房運転を行います。強制冷房運転はリモコンで冷房運転を開始した後、リモコンの試運転ボタンを押してください。
試運転中は「運転ランプ」と「タイマーランプ」が同時に遅い点滅を行います。
④連成計の指示が0.05～0MPa（0.5～0kg／cm^2）になったら、三方操作弁の弁棒を全閉にします。
⑤運転を停止します。運転停止はリモコンの運転／停止ボタンを押してください。

⚠警告

●ポンプダウン作業では、冷媒配管をはずす前に圧縮機を停止してください。
・圧縮機を運転したまま、かつ二方操作弁、三方操作弁が開放状態で、接続配管をはずすと空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧となり、破裂、ケガなどの原因になります。

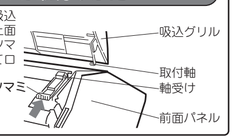
吸込グリルのはずしかた

①吸込グリルを水平になるまで開きます。
②片手で吸込グリルをささえ、左右上部のツマミを手前に引きロックを解除します。
③吸込グリルを上に持ち上げてはずします。



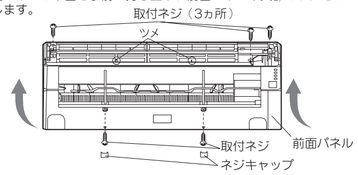
吸込グリルの取付けかた

①吸込グリルを水平にして、吸込グリル取付軸を前面パネル上面の軸受へ入れ、左右上部のツマミを止まるところまで押してロックします。
②吸込グリルを閉じます。

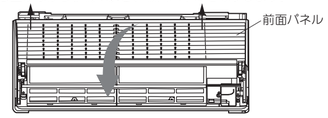


前面パネルのはずしかた

①吸込グリルをはずします。（吸込グリルのはずしかた参照）
②ネジキャップをはずし、取付ネジ（2本）はずします。
③配線カバーをはずします。
④矢印のところの取付ネジ（3本）はずします。
⑤前面パネルの下面を手前に持ち上げ、前面パネル中央部のツメをはずします。

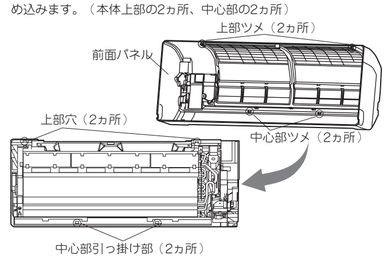


⑥上面を持ち上げながら手前に引き、前面パネルをはずします。



前面パネルの取付けかた

①前面パネルの下面を先に正面からかぶせ、上部と中心部のツメをはめ込みます。（本体上部の2ヵ所、中心部の2ヵ所）



②取付ネジ（5本）を取り付けます。
③ネジキャップ（2ヵ所）を取り付けます。
④配線カバーをネジで取り付けます。
⑤吸込グリルを取り付けます。

⚠注意

●前面パネルの着脱は注意して行ってください。
・前面パネルが落下するとケガをするおそれがあります。